

2021年7月1日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市須和田2-12-3
fax 047-705-6018
携帯 090-6310-3294
メールアドレス
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.138

6月議会
一般質問

オリパラ観戦中止求める シャワー室撤去に関して市長答弁なし

6月議会が6月11日から28日まで開かれました。冒頭に、村越市長に対する「不信任決議案」を無所属の会と共同提出。否決(裏面掲載)。私の一般質問は、25日に行い、教育行政、LINEと個人情報、市長室のシャワー室撤去について質問しました。

オリパラ観戦

(問) 市内の小中学校のオリパラ観戦チケット希望はあるのか。観戦に対する教育委員会の考えは。

(答) 6校キャンセルはあったが、5校1150枚の希望がある。観戦は各学校の判断。実施する場合は、十分な感染予防対策の講じて実施をお願いする。

女性トイレに 生理用品を

(問) 本市も「女性支援セット」600セットを配布。20市町で取り組まれ、9市町で、小中学校のトイレに生理用品を置くことになった。市でも置くことはできないか。

(答) 保健室には置いてある。無償で配布できるように相談体制を整えている。遠慮したり、相談しにくい状況も想定されるので、学校の実態に応じて、女子トイレに生理用品を置くことを検討する。

(要望) 品川区では、「本当に必要なだけ言い出せなかった生徒にも届き、急に生理になったとき安心できる」という声が届いている。本市でも工夫して、トイレに生理用品を置いてほしい。

就学支援に眼鏡 補助を

(問) 黒板や教科書の字が見えづらいのは「学習



に支障が生じる恐れ」にあたるのではないかと。

藤沢市や厚木市、日光市などは補助を出している。

(答) 「学校保健安全法」

では、視力が低下は治療費の対策外となっている。補助を行っている市は、

国や県からの補助がなく、市独自の制度ということ。

(要望) 視力が低下は学習意欲をなくす。お金がなくて眼鏡を作ることが

できないとなれば、なおさら。本市も就学支援の対策に眼鏡の補助を。

今年の修学旅行

(問) 今年はどうするか。中止の際のキャンセル料の補填について。

(答) すべて8月以降に延期。感染状況を注視し校長会と協議していく。

いくつかの学校は感染防止対策を十分に行い、実施する方向である。昨年は市がキャンセル料補填

しましたが、今年は予定していない。

(要望) 宿泊学習でなく、感染対策を取って日帰り旅行などについてほしい。

シャワー室問題 一問一答

(問) 「シャワー室を自費で撤去を」市議会の決議を無視するのか。

(市長) ……

(問) 記者会見で、「説明が足りない」と認めている。これからも市民に説明しないのか。

(市長) ……

(問) 当初から女性職員専用と考えていたのか。

(問) 災害時に市長室を開放することに問題はなのか。

(市長) ……

市長室の広いトイレは車椅子仕様。シャワー室を作ったことで車椅子でトイレに入れなくなった。市民アンケートで7割が「村越市政に不満」「不信感しかない」「怒り爆発。早く辞めてほしい」。「なぜ作ったのか」と市長に問いたい。

6月議会の冒頭 共産党と無所属の会 村越市長の不信任決議案を提出

6月議会の冒頭、共産党と無所属の会は「村越市長の不信任決議案」を共同提出しました。提案理由を越川雅史議員が述べ、高坂進議員が賛成討論を行いました。不信任と判断した主な理由は

① 市長が市民と議会に説明することなく、市長室にガラス張りのシャワールームを設置したこと

② 3月市議会で可決された「シャワールームを撤去し現状回復を求める決議」を「重く受け止め真摯に対応します」と述べていたにも関わらず、6月1日の記者会見で、「撤去に応じない。災害時に私が使った後、女性職員に使ってもらおう」など、議決を無視し、市民の声に耳を傾けない態度を鮮明にしたこと

③ 新型コロナウイルス接種予約の混乱の責任

④ 高級公用車テスラ、多すぎる海外視察、定額給付金の遅れ、コオロギ粉末の社会実証実験など、失策と税金の無駄遣いなど。

もうこれ以上、村越市長に市長職を託すことはできない。と提案理由を述べました。

高坂議員は、次のように、市長の政治姿勢を批判しました。

① 5階の3つのシャワールームは、市長が使うと職員が遠慮するから、市長室に必要だと説明していたにも関わらず、市長室を女性職員の休憩室として使い、シャワールームも利用してもらおうなどと、説明が二転三転している

② 共産党市議団の市民アンケートには、「市長室のシャワールームは不要」「とんでもない」と多数の声がある。これらの市民の声を無視している

③ 「勝つのは市民だ」と言って当選したのに、市民に知らせず、自分だけの思いで決めることを繰り返してきた

④ 予算に対する認識が現代民主主義の考え方から逸脱していること。シャワールーム設置が、「新庁舎新築工事に伴う総合案内カウンター等設置工事」の契約変更の一部として行われていること。余剰金がある、それを使うから問題なし、ではまずさ

このほか、テスラ、階段設置、エストニア視察等々、同様のやり方が行われてきた。

議会議長が「市長室に設置されたシャワールームに関する報道に対する説明を求めるとともに、撤去を求める決議」を提出

共産党は、シャワールーム撤去問題を議会で問うても市長は答弁に立たず、「決議」は撤去を求めても費用に触れていない、と反対討論。（賛成多数で可決）

無所属の会が、7月から半年間、市長の給与4割削減を求める「市長の給与の特例に関する条例」を提出。共産党は賛成。（反対多数で否決）

保守系会派が「市長室に設置されたシャワールームに関する報道に対する説明を求めるとともに、撤去を求める決議」を提出

共産党は、シャワールーム撤去問題を議会で問うても市長は答弁に立たず、「決議」は撤去を求めても費用に触れていない、と反対討論。（賛成多数で可決）

無所属の会が、7月から半年間、市長の給与4割削減を求める「市長の給与の特例に関する条例」を提出。共産党は賛成。（反対多数で否決）

議会最終日

保守系会派が「市長室に設置されたシャワールームに関する報道に対する説明を求めるとともに、撤去を求める決議」を提出

共産党は、シャワールーム撤去問題を議会で問うても市長は答弁に立たず、「決議」は撤去を求めても費用に触れていない、と反対討論。（賛成多数で可決）

無所属の会が、7月から半年間、市長の給与4割削減を求める「市長の給与の特例に関する条例」を提出。共産党は賛成。（反対多数で否決）

保守系会派が「市長室に設置されたシャワールームに関する報道に対する説明を求めるとともに、撤去を求める決議」を提出

共産党は、シャワールーム撤去問題を議会で問うても市長は答弁に立たず、「決議」は撤去を求めても費用に触れていない、と反対討論。（賛成多数で可決）

無所属の会が、7月から半年間、市長の給与4割削減を求める「市長の給与の特例に関する条例」を提出。共産党は賛成。（反対多数で否決）

保守系会派が「市長室に設置されたシャワールームに関する報道に対する説明を求めるとともに、撤去を求める決議」を提出

共産党は、シャワールーム撤去問題を議会で問うても市長は答弁に立たず、「決議」は撤去を求めても費用に触れていない、と反対討論。（賛成多数で可決）

無料法律相談

◎7月13日（火）
担当 井出達希弁護士
◎8月10日（火）
担当 島貫美穂子弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控室まで

《主な活動報告 6月》

☆6月7日 6月議会に向けた市政懇談会

6月議会の議案、予算関連の説明をした後、やなぎ議員が代表質問の内容を報告して、参加者から「水害・土砂災害について」「中核市移行について」「オリパラ観戦について」「ワクチン接種について」など、ご意見やご要望をいただきました。今後の議会活動に活かして行きます。



☆6月27日 都議選応援に行きました

7月4日投票でたたかわれている都議選で、江戸川区応援に行っています。定数5に有力候補8人の争いです。現職の河野さんからバトンタッチする新人の原純子さん。何としても勝ち抜いてほしい。

☆6月28日 特養待機者ゼロをめざす会が要望書提出

市川の特養ホーム待機者ゼロをめざす会は、村越市長に請願署名を提出しました。小泉福祉部長が受け取りました（左側）。月1回の署名活動を続け、390人分（累計1万7570人分）を提出。誰もが老後を穏やかに暮らせるように、という願いが込められています。



☆6月30日 新婦人内後援会で学習会

斉藤和子さん、浅野ふみ子さんを招いて、学習会。質疑やフリートークで、共産党を伸ばして政権を変えようと話し合いました。

